

山陰宗門改帳研究会記録

第1回研究会 2005年3月30日(水) 午後1:30-4:00 場所：山陰研究センター

出席：伊藤康宏 小林准士 相良英輔 鳥谷智文 仲野義文 廣嶋清志

1. 2004年度経過報告

2. 来年度計画

3. 各人の研究報告 概要

- 伊藤：「20世紀初頭の島根県農村・農家の研究―「島根県農事調査報告書」を通して―19世紀宗門改帳時代との比較研究」

作業内容：同報告書108冊の農家・農村データの整理・入力作業

農事調査報告は時期は少しずれるが、宗門改帳に表れる人口動向の背景にある村ごとの生活が知れる貴重な資料であることを確認。

「近代日本における漁業組合の実態と歴史的役割―島根県簸川郡旧北浜塩津漁業組合を中心に」漁業経済研究 49巻1号, 2004年

- 小林：「『宍道町町史』の宍道町宗門改帳による人口分析」

(諸書附印形控, 1819-1826による移動 35, 36件, 松江に結婚に行く場合年齢高い; 1825年意宇郡東来海村宗旨証拠帳, 人口879人, 191世帯, 年齢別既婚率, 夫婦年齢差)

- ・熊谷家文書中の宗門改帳リスト: 28冊ほか(文久3, 4年邇摩郡宅野村, 邑智郡田窪村, 三原村) 島根大学図書館所蔵 未整理文書中

- 相良：「文化2~嘉永2年(1805-1849) 仁多・櫻井家の山内(たたら鍛冶屋者の居住地)における人口の流動性」

- ・櫻井家山内の拡大 宗旨証拠帳 1743, 1763, 1830, 1863年 鉄方鍛冶屋者(家族含む) 200-401人。文化2-嘉永2年 宗門受取証文事(仁多・櫻井家文書) 64件, 文化5-嘉永2年 宗門放証文事(同) 110件。

- ・石見国川下村瀬尻鋤所 1842年 當山内召抱人別帳 67人, 1863年 宗門人別帳 14人

- 鳥谷：「周吉郡矢尾村の人口構成について―「慶応4年周吉郡矢尾村宗門御改證証拠帳の分析」―」

現西郷町西町・港町 1,019人 慶応4年, 出生20, 死亡34, 流入6, 流出1, 人口増-9, 20歳代が少ない 移動範囲は周辺村と島前

- ・大田市図書館 竹下家文書(安濃郡才坂村, 1822-1871年, 家数人別牛馬増減書上帳, 宗門下改帳, 生人入人出人死人帳など 57件; 邇摩郡静間上組 1851年ほか 15冊)

- ・中村家文書(邑智郡大貫村 現桜井町, 寛政-明治5年 宗門御改帳, 宗門送り状ほか 56件)

- 仲野：「石見銀山の無宿人労働に関する一資料」(日本鉱業史研究, 第39号 2000年)

高橋家文書, 天保14, 1843年4-7月, 23人, 稼人中の柄山負の減少(57から14人)に伴

う一時的使用,1838年に大森,銀山両町で多数の死者が出る。1837年銀山町山師下財山稼
250-260人ほか,1838年1-閏4月中までに110人疫病で死亡(野沢家文書)。「子供養育米」
制度の前。

● 廣嶋：「幕末における人口機構の地域差—石見銀山領に見る」

沿岸・中間・山間の3地域間で人口増加率が違うのは死亡率の差によることが明らかにな
ったが,それがどのような生活状態の差によるかを明らかにするのが課題。

第2回研究会 2005年7月15日(金)午後4:30-6:30 場所：山陰研究センター

出席：伊藤康宏 小林准士 相良英輔 鳥谷智文 廣嶋清志

■ 研究報告

・ 山崎 亮「墓上施設の現在——隠岐、対馬、壹岐のスヤをめぐる——」

■ 研修

廣嶋清志「数え年年齢を使った計算について」

■ 打合わせ：

叢書のための原稿分担について 『山陰の近世社会：宗門改帳から見る』仮題

予算配分計画について

FTPサーバーによるデータベースの利用

パソコン,その他の設備の利用について

データベースの利用について

第3回研究会 2005年11月26日(土)午前10:00-12:30 場所：山陰研究センター

出席：伊藤康宏 小林准士 相良英輔 田籠博 鳥谷智文 仲野義文 廣嶋清志

■ 研究報告

田籠 博：現代の人名の特徴とその構造 - 平成14年度島根大学在籍学生のデータから -

仲野義文：宗門改帳にみる幕末明治期の銀山町の諸相

鳥谷智文：大吉鋤の変遷と人口移動—「御用留 大吉鋤」(天保11年~安政5年)における
「宗門証状」の分析—

廣嶋清志：銀山領の村別宗門別人口,世帯数,平均世帯人員

■ 打合わせ：

科研費応募について

基盤研究(B)(一般)研究期間(H18-20年度)石見銀山領における人口増加開始期の人口再生
産機構に関する研究

叢書『山陰の近世社会：宗門改帳から見る』(仮題)の各章の題名の提案

データベースの利用について

今後の予定その他